

横浜市外転出者意識調査結果がまとまりました。

～一番の転出のきっかけは、全体では「仕事」、子育て世帯では「住宅購入」～

横浜市では、将来予測される人口減少や東京一極集中の加速などの状況を踏まえ、市外に転出された方の転出事由や意識を把握し、今後の市政運営や政策立案の基礎資料として活用するため、横浜市外転出者意識調査を実施しました。

このたび、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

■調査の概要

- 調査期間：平成29年10月4日～23日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査対象：平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に横浜市内から東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）へ転出した20歳以上44歳以下の男女5,000人（住民記録システムより無作為抽出）
- 調査項目：属性、転出のきっかけ、横浜市より転出先を選んだ理由、横浜市への再転入意向等
- 回収結果：有効回答1,523票（回収率30.5%）

■調査結果の概要

①転出の一番大きなきっかけ、転出先を選んだ一番大きな理由、転出前後での住居形態の変化

回答者全体では、転出の一番大きなきっかけは「仕事」が最も多いなど、**仕事関係が非常に重要な要素**。一方、**子育て世帯に限れば**、転出の一番大きなきっかけは「住宅購入」、転出先を選んだ一番大きな理由は「家賃や住宅の価格が手ごろ」が最も割合が高いなど、**住宅関係の重要度が高い**。

<全体> n（回答者数）=1,523

- ・転出の一番大きなきっかけは、「仕事」（33.9%）が最も多く、続いて「結婚」（24.0%）、「住宅購入」（16.3%）。「子育て・教育」は5.3%。
- ・転出先を選んだ一番大きな理由では、「交通の便」（41.1%）が最も多く、それに続く「家賃や住宅の価格が手ごろ」（14.2%）と「親族が近く」（13.6%）の割合はほぼ同じ。
- ・住居形態について、転出前後で《賃貸》から《持ち家》に移った人と《持ち家》から《賃貸》に移った人がほぼ同数（前者が全体の23.7%、後者が24.0%）。全体に占める《賃貸》、《持ち家》の割合は、転出前後でそれぞれ63.3%→63.9%、31.3%→31.2%で、ほぼ変化がない。

<転出前後とも世帯構成が「夫婦（またはいずれか一方）と未婚のこども」（=子育て世帯）>
n=284

- ・転出の一番大きなきっかけは、「住宅購入」（39.1%）が最も多く、続いて「仕事」（19.4%）、「子育て・教育」（12.3%）。
- ・転出先を選んだ一番大きな理由は、「家賃や住宅の価格が手ごろ」が22.2%で最も多いが、それに続く「交通の便」、「親族が近く」もそれぞれ19.4%、19.0%と、いずれも2割前後。「子育て・教育環境」は12.7%。
- ・住居形態について、転出前《賃貸》の63.4%が転出後《持ち家》に移り、一方、転出前《持ち家》のうち44.1%が転出後《賃貸》に移った。実数としては前者が後者を上回るため、転出前後で《持ち家》の割合が増加し（18.6%→61.9%）、《賃貸》が減少している（79.6%→37.3%）。

②転出前の居住地域別、転出先

ほぼ全ての区で東京都区部への転出割合が最も高いが、市北部の区に住んでいた方は川崎市への転出割合が、市南部の区に住んでいた方は湘南や県央、横須賀三浦地区への転出割合が、比較的高かった。

③転出先地域別、転出先を選んだ一番大きな理由

東京都区部では「交通の便」（61.3%）、県央地区では「家賃や住宅の価格が手ごろ」（28.7%）、湘南地区では「親族が近く」（22.2%）が最も高かった。また、横須賀三浦地区では「自然環境が身近」（13.4%）が他の地区に比べて高かった。

④横浜市への継続居住意向

転出した一番大きなきっかけがなければ横浜に「住み続けていた」を選択された方が76.4%。
おおむね、住んでいた期間が長いほど「住み続けていた」の割合が高かった。

⑤横浜市への再転入意向

事情が許すならまた横浜に「住みたい」を選択した方が79.6%。
住んでいた期間が長いほど「住みたい」の割合が高かった。

※ 調査結果は、下記ホームページからご覧いただけます。

(掲載 URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chousa/seisakuchousa/>)

お問合せ先

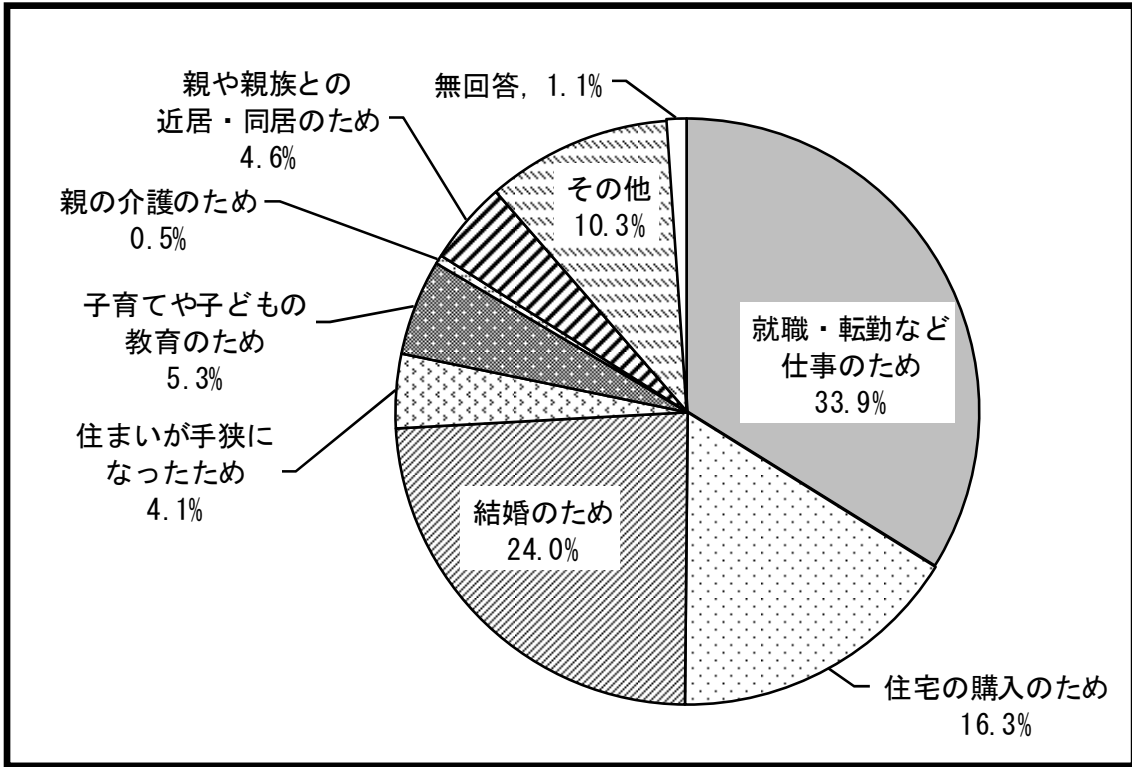
政策局政策課長 齊藤達也 Tel 045-671-3912

【横浜市外転出者意識調査結果】 <抜粋>

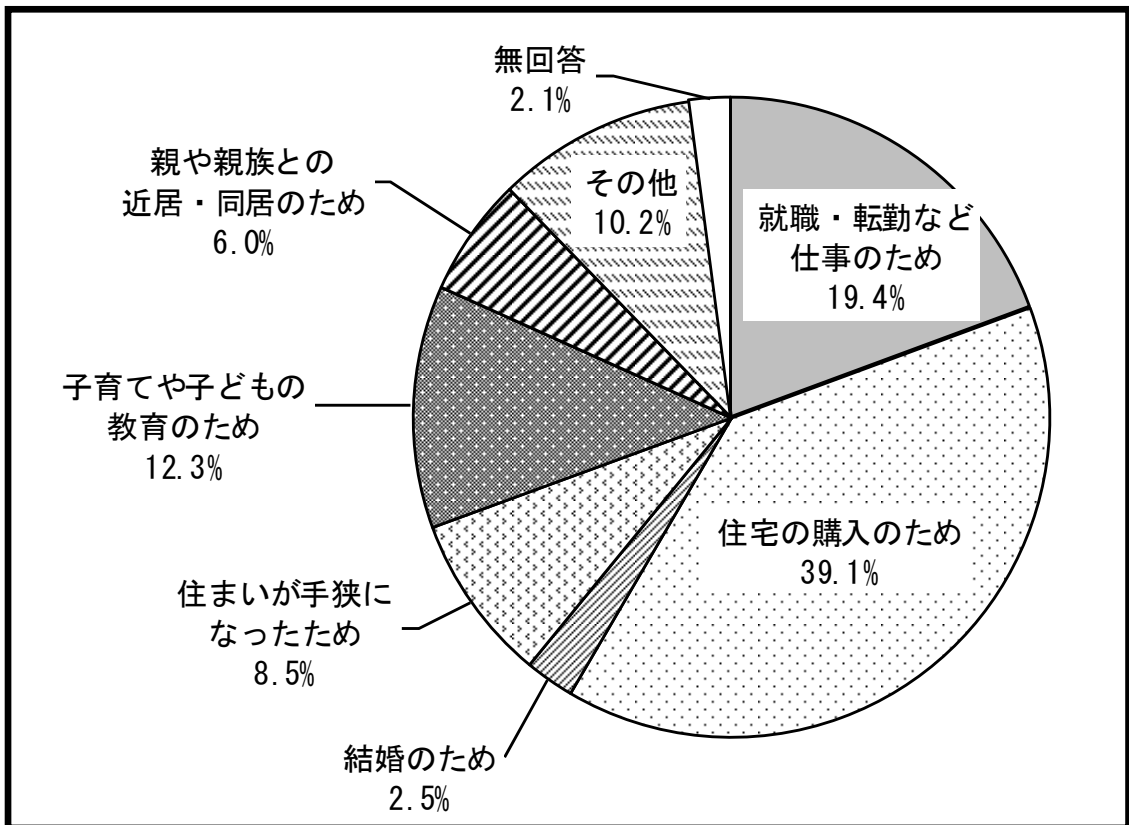
参考資料

○転出した一番大きなきっかけ

<全体> n=1,523

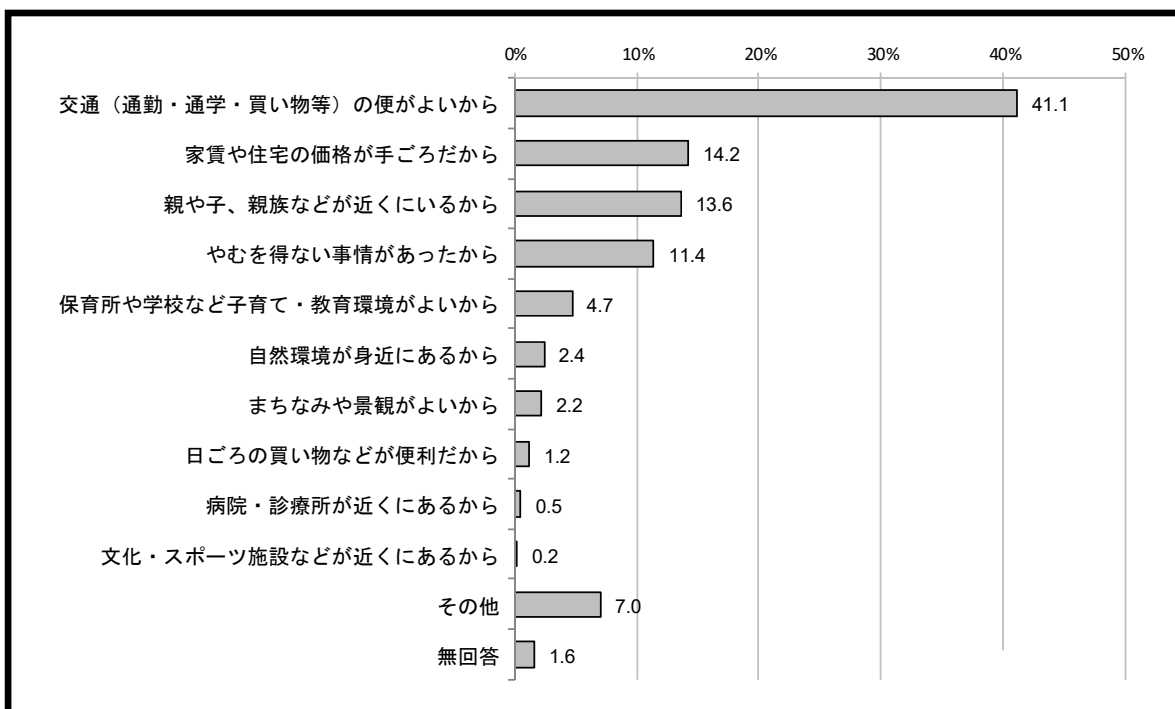


<転出前後とも「夫婦（またはいずれか一方）と未婚の子ども」> n=284

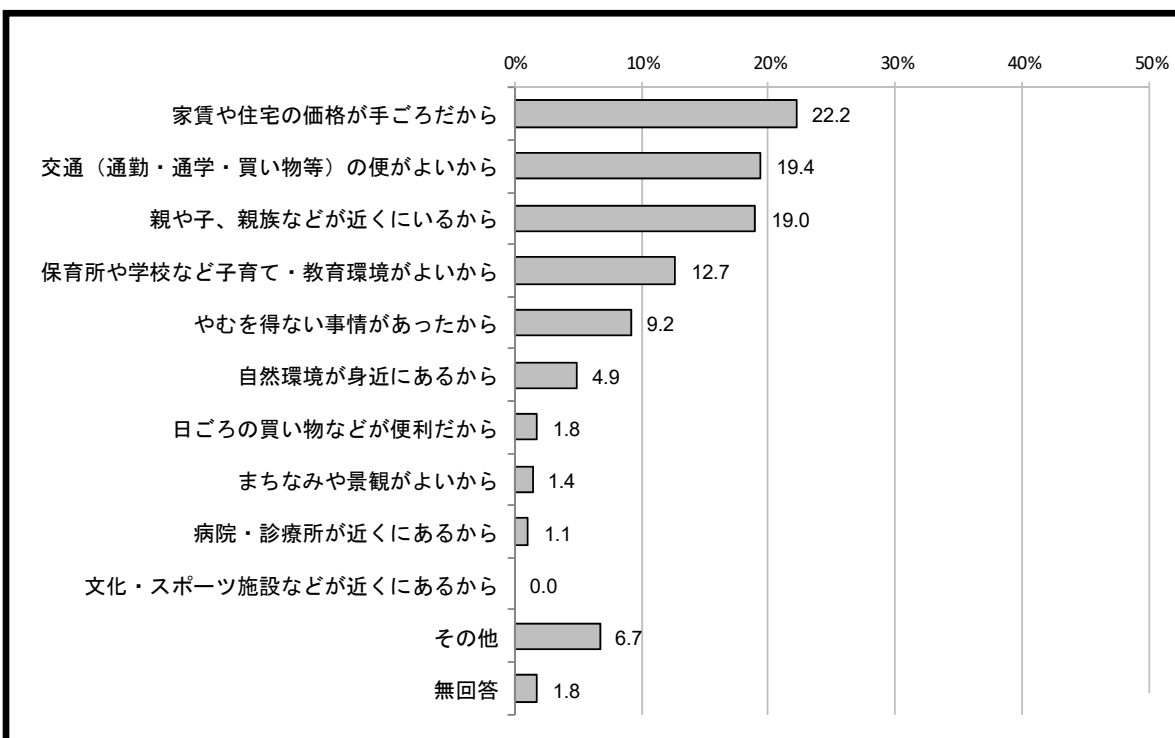


○横浜市より転出先を選んだ一番大きな理由

<全体> n=1,523



<転出前後とも「夫婦（またはいずれか一方）と未婚の子ども」> n=284




○住居形態の変化

<全体> n=1,523

(%)


		転出前						
		合計	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (賃貸)	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	社宅・公務員 宿舎など	その他の住宅
転出後	合計	100.0	16.3	3.8	15.0	49.5	10.0	1.6
	戸建て住宅 (持ち家)	17.8	1.6	0.8	1.9	11.2	2.0	0.3
	戸建て住宅 (賃貸)	4.3	0.7	1.4	0.5	1.4	0.2	0.1
	集合住宅 (持ち家)	13.4	1.0	0.8	2.5	7.6	1.3	0.1
	集合住宅 (賃貸)	53.6	11.9	0.6	9.5	27.0	3.9	0.7
	社宅・公務員宿舎など	6.0	0.9	0.3	0.5	1.8	2.5	0.1
	その他の住宅	1.0	0.2	-	0.1	0.5	0.1	0.2

 転出前後で住居形態に変化がない

<転出前後とも「夫婦（またはいずれか一方）と未婚の子ども」> n=284

(%)

		転出前						
		合計	戸建て住宅 (持ち家)	戸建て住宅 (賃貸)	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	社宅・公務員 宿舎など	その他の住宅
転出後	合計	100.0	4.9	4.9	13.7	60.6	14.1	1.4
	戸建て住宅 (持ち家)	38.7	1.8	2.1	3.9	22.2	7.8	1.1
	戸建て住宅 (賃貸)	4.9	1.1	1.8	0.7	1.4	-	-
	集合住宅 (持ち家)	23.2	0.4	0.7	4.6	14.4	3.2	-
	集合住宅 (賃貸)	27.8	1.4	0.4	4.6	20.1	1.1	0.4
	社宅・公務員宿舎など	4.6	0.4	-	-	2.1	2.1	-
	その他の住宅	0.4	-	-	-	0.4	-	-

 転出前後で住居形態に変化がない

○横浜市で住んでいた地域別 転出先 n=1,523

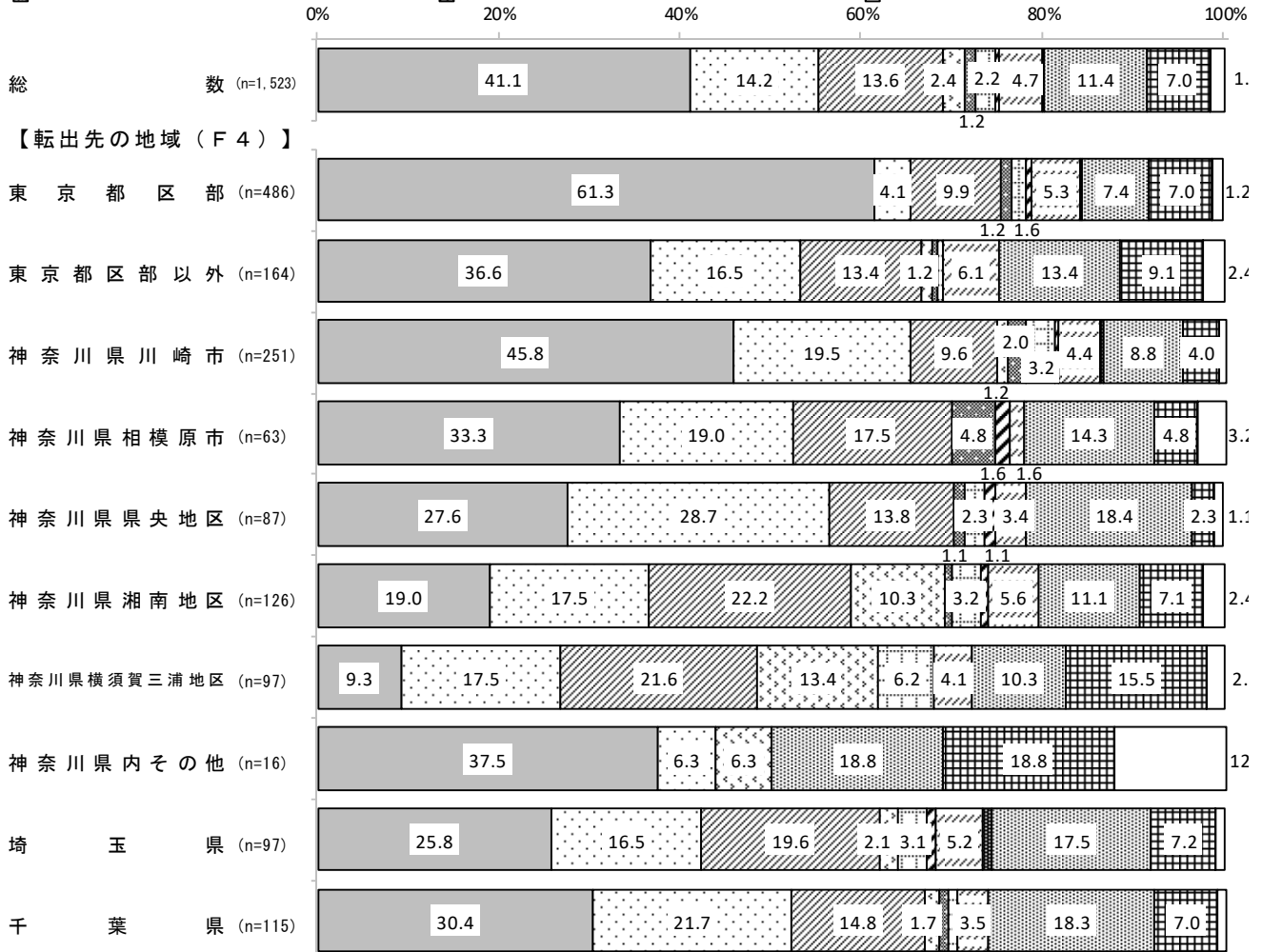
(%)

	回答者数	転出先の地域 (F4)										
		東京都区部	東京都区部以外	神奈川県川崎市	神奈川県相模原市	神奈川県中央地区	神奈川県湘南地区	神奈川県横須賀三浦地区	神奈川県内その他	埼玉県	千葉県	
横浜市で住んでいた地域 (F3)	総数	1,523	31.9	10.8	16.5	4.1	5.7	8.3	6.4	1.1	6.4	7.6
	青葉区	169	36.1	12.4	21.9	5.3	4.1	3.6	1.8	0.6	5.3	7.7
	旭区	60	33.3	5.0	8.3	3.3	18.3	13.3	0.0	1.7	10.0	6.7
	泉区	47	23.4	8.5	4.3	4.3	12.8	14.9	10.6	2.1	10.6	8.5
	磯子区	36	30.6	5.6	11.1	5.6	2.8	13.9	8.3	0.0	11.1	8.3
	神奈川区	106	39.6	10.4	14.2	3.8	1.9	10.4	2.8	1.9	8.5	6.6
	金沢区	76	30.3	13.2	5.3	0.0	1.3	10.5	22.4	2.6	10.5	3.9
	港南区	64	26.6	20.3	17.2	1.6	1.6	6.3	10.9	0.0	4.7	10.9
	港北区	240	37.1	11.3	18.3	3.3	4.2	7.5	4.6	0.8	5.4	6.7
	栄区	54	22.2	1.9	7.4	9.3	5.6	20.4	20.4	0.0	5.6	7.4
	瀬谷区	35	20.0	5.7	5.7	11.4	25.7	17.1	0.0	5.7	2.9	5.7
	都筑区	86	30.2	11.6	25.6	3.5	7.0	9.3	2.3	0.0	3.5	7.0
	鶴見区	173	34.1	11.0	24.9	1.7	4.6	4.0	3.5	0.0	5.2	9.8
	戸塚区	80	22.5	7.5	17.5	6.3	3.8	21.3	6.3	1.3	2.5	11.3
	中区	50	30.0	14.0	16.0	0.0	2.0	4.0	16.0	0.0	8.0	8.0
	西区	46	34.8	6.5	10.9	6.5	2.2	2.2	17.4	2.2	6.5	10.9
	保土ヶ谷区	59	40.7	6.8	20.3	0.0	6.8	0.0	5.1	3.4	8.5	8.5
	緑区	73	23.3	19.2	13.7	16.4	8.2	4.1	2.7	1.4	9.6	1.4
南区	52	32.7	13.5	17.3	0.0	13.5	5.8	3.8	0.0	3.8	9.6	

最も割合が高い選択肢

○転出先の地域別 転出先を選んだ一番大きな理由 n=1,523

- 交通（通勤・通学・買い物等）の便がよいから
- 自然環境が身近にあるから
- 病院・診療所が近くにあるから
- やむを得ない事情があったから
- 家賃や住宅の価格が手ごろだから
- 日ごろの買い物などが便利だから
- 保育所や学校など子育て・教育環境がよいから
- その他
- 親や子、親族などが近くにいるから
- まちなみや景観がよいから
- 文化・スポーツ施設などが近くにあるから
- 無回答



○横浜市への継続居住意向(転出した一番大きなきっかけがなかった場合) n=1,523
(%)

	回答者数	て住 いみ た続 け	い転 た出 して
総 数	1,523	76.4	21.9
1年未満	132	57.6	35.6
1年以上5年未満	532	74.2	23.9
5年以上10年未満	250	78.8	20.0
10年以上20年未満	166	77.7	20.5
20年以上	428	83.2	16.6

○横浜市への再転入意向(事情が許すなら) n=1,523

	回答者数	住 み た い	な住 い み た く
総 数	1,523	79.6	18.5
1年未満	132	63.6	32.6
1年以上5年未満	532	75.2	23.5
5年以上10年未満	250	76.4	20.4
10年以上20年未満	166	86.7	13.3
20年以上	428	89.7	8.9